奉市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
奉市共上車三十餘輛
邊東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

滿洲日報

本社　大石橋市街　瑞穗洋行
支局　遼陽西門外　芳文館
局　奉天大南門內　本社支局
及　景祐宮胡同
販　大連盤城町　岡野新聞舖
賣　安東縣新市街　天祐公司
所　新民府　泰東公司

特別廣告

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
營口出帆
●高砂丸　八月三日出帆　太沽、芝罘、長崎、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
●盛京丸　八月八日　入港
東營口公園地横（電話二十三番）
代理店ブンレ兄弟商會　遠來洋行

瀛船出帆廣告
●鷹取丸　八月二日　門司神戶行
●摩耶山丸　八月三日　仝
松茂洋行船舶部
海岸東稅關西　電話（五二）（五七）

朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

安東縣市場通七丁目
合資會社　秋田商會支店
羊鐵鋼
麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類
其他諸機械ノ製作修繕

安東縣東大街
合資會社　秋田商會支店

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
橫濱正金銀行牛莊支店
本支店出張所
横濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　漢口　天津
北京　大連　旅順　奉天　遼陽
芝罘　鐵嶺　安東縣
（電話十番支配人室二百八番事務室）

正隆銀行
營業項目
一定期預金（長期存欵）　三ヶ月　五分　六ヶ月按年五分五厘　一ヶ年　六分
一當座預金（暫存欵）　按年　四分五厘　日步　一錢二厘三毛
一小口當座預金（零碎暫存欵）　按年五分一厘　日步一錢四厘毛
一送金爲換取組先（匯兌）　東京、横濱、大阪、神戶長崎、上海、天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金（放利）　一般財產並に土地建物の管理を引受くること　不動產抵當貸附金の委託を引受くると
一附帶ノ業務
軍政署認可
本行受入の軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄精々御都合宜敷樣可相働候尙近々の內過爐銀の取引をも開始可致候

●ぬ號勸業貯蓄債券（五圓券）發賣
營口西北街第二百三十號（日本人會西隣）　支配人　深水十八（電話二百十番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞于絨布手巾花巾洋服火柴鐵表等類價值格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商惠臨賜顧曷勝榮幸之至　總司理人　田中賴之助　謹白
開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番）（住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船數艘名域多利能載重二萬担如有貴客欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉賜顧請到小號面議是有　總司理人　葉亮卿　謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事　潘玉田　副理事　金德魁
設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子扶蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國十布家綿白染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
東北街　櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西部（電話九十八番）

志岐組
本組開設營口綏定門外專辦築造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸　本主人謹白

三井
電話　第六十六号　第九十一号
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部經理

○發售新到洋白糖
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨所集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險王鹿芹朱斐章郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數各惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已諸公賜顧請駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行
電話　第六十六号　第九十一号

辯護士法學士
ADVOCATE. Dr. Tur. CHIGA.
値賀連
律師局　營口永世街第三號之二（金城館南隣）
大連大山通二丁目三十一番

牙大夫學士兒島醫院
DENTIST. Dr. KOJIMA.
●語日齒全壽長●營口元神廟衖
告白
啓者本院主從來於森醫院齒牙治療從事則近時稍感狹隘因今別卜居開院新式諸器械完備無遺憾專足於敎治牙疼施術齲窩金銀充塡落齒補足妙技矣有齒牙疾患者希咀嚼快者欲皓齒金光燦爛美者速來知神秘妙執事

鐵道遼河　裕和盛運輸局
（電話八十一号）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本号向在日本長崎開設數十年開店仁川木浦旅順大連營口鐵嶺漢城等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物爲各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

營口承文信記書坊
現廣西大街粤東會館前阜豐棧內專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙商士賜顧者價照批發格外克已不誤　本號主人謹白

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
營口元神廟街南邊路西
朝日ビール特約大販賣
（電話百九十二号）

日本官造紙
烟專售告白
本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）嫣嫣唎（軍旗牌）隆佑來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣
東營口西北街（舊代代木公司）
日本官煙營口專賣處

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代各裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷
營口西北街（電話八十號）
牛家屯車站（電話四十六號）
遼陽、奉天、昌圖各車站
既設分局

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至　營口永世街
第五號門牌便是

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉玆本主人開辦玻璃廠聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

志岐組木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

●銃砲火藥販賣業
本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需槖發售如蒙中外紳商賜顧者祈到本行面議可也
鐵嶺東門大街
官許商　秀清洋行

●印判彫刻●ゴム印
●活版名刺
●各色印肉インキ　附屬品一式
各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名聘着候に付分ち設立と同時に一層勤勉を以て期日正確價格低廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候御報知次第店員參上仕候
刻字舖
營口永世街三十七号　尾崎洋行
奉天小西關大街二七八号南側　尾崎洋行分店

精乳軒牛乳販賣所
今般其筋の許可を得左の處に於て精良牛乳販賣仕候間多少に拘らず御試用の程奉願候
元神廟街二四九　電話三番

韋廉士大醫生紅色補丸　滿洲總代理人牛莊遠來洋行
○能平肝而調胃　凡患食積不化肝木不和反胃嘔吐之疾而欲以瀉治之誤矣夫之錯未有甚於此者也多瀉則傷損元神創伐臟腑氣血不足而胃不化穀矣必須有健脾開胃平肝補血之品方能有濟韋廉士大醫生紅色補丸無攻伐之虞而有淸補之効是以名馳大陸其治肝病反胃　頭痛　中滿　中虛等症捷於影响　施君順天緬甸萬打兀地方某玩器庄之司事人也其所述韋廉士大醫生紅色補丸之功效曰弟數年前肝經爲患食積不化偶一屈腰則頭昏眼花大便肛結腰部作痛胃口日減夜不能睡食後心胸膨脹週身不安胃風時作諸多不便是以骨瘦如柴神情彷彿加以胃經爲患時發時止雖百方求治醫延中外而病

不少減三年前友人勸我吞服韋廉士大醫生紅色補丸予從其言購而服之乃甫服即見功効前後服丸不過數樽而各病俱除矣此番愈後身子康健耗病全無者皆此丸之力也玆將韋廉士大醫生紅色補丸主治各症略列於下
肝木不和　食積不化
反胃嘔吐　命門水虧　頭痛血虛
未老先衰　遠年風濕　半身不遂
脚氣衝心　瘖疥癍疹　熱發病後
下痢病後　感冒病後　大東一帶
各處藥店均有發售或直向石叨海邊第一度吊橋脚　韋廉士醫生總藥局採買亦可　每一樽價銀一元五角　每六樽價銀八元　不論遠近一律不取郵費　此丸迺英國名醫數十年考究獨得之秘而本藥局又係英人之業合併聲明
新嘉坡海邊第一度吊橋韋廉士醫生告白

廣告料
五号活字十九字詰一行一回　二十錢
四号活字十四字詰一行一回　三十錢
二号活字九字詰一行一回　四十錢
刊例　每日每…壹角五分…者每日每行壹角登長年者價目面議
淸營口中盛街（電話二一九番）
滿洲日報
國所

東京電報

●兒玉邸へ御沙汰（廿八日發）

昨日勅使を兒玉邸へ差遣せられ次の御沙汰ありたり

夙に身を軍務に委ね久しく力を要職に盡し新附の地に臨みては治績大に擧り帷幄の謀に參しては武勳維れ高し今や論亡す何ぞ悼惜に堪へん此に祭資を賜ひ以て弔慰す

同時に兩陛下より祭祀料五千圓白絹三匹榖物八臺生花一對東宮殿下より祭祀料三百圓を孰れも下賜せられ又其功勞を思召され兩陛下より金五萬圓御下賜ありたり

●兒玉大將の葬儀（同上）

本日青山にて兒玉大將の葬儀あり會葬者は各宮殿下を始め各大臣陸海軍將校各省高等官及在野の政治家實業家等約二千名式終りて墓地に埋棺したり

●故大將の葬儀後報（同上）

朝來雨天八時出棺十時青山練兵場の式場に達す内外武官紳士雲集して之を迎へ粛然たる間に佛葬式を終り次で青山墓地に送くれり大島大將石塚長官徒歩柩後に從へり

鐵道受領特派員電報

二十八日午後九時郭家店發

●鐵道工事困難

ヘイツイゼ鐵橋より四平街に至る八哩間軌道の布設終らず降雨の爲め工事困難を極む明日公主嶺着の筈なり

●韓人嫌疑者送還

韓人十五名日本人の嫌疑にて北滿洲より送り出され今日當地に到着せり彼等は二ヶ月間哈爾濱にて拘留されたるものなりと

三十日午前七時三十分公主嶺發

●日露守備兵の交代

一行今到着せり九時露國滊車にて長春に行く露兵引揚げ中にして我か守備兵到着しつゝ在り

雜報

●北京通信

七月二十三日　特別通信員

目下外務部は右侍郎唐紹儀の獨舞臺にて縱横左右に取りまくり居る樣誠に目覺しく慶親王那桐兩尚書聯侍郎の如きは唐侍郎の光の餘りに大なるか爲め殆と其存在を忘らるゝ有樣に候御存知の如く唐侍郎は二十餘年前の海外留學生にて米國大學卒業歸國の後領事海關道英藏條約談判委員等に歴任し多年樽俎折衝の任に當たり學識閲歴共に衰々たる清國外交家を拔くこと數等に御座候彼は從來外交家の八股文孔孟の倫理以外一物だも解せざるに反し橫文字を讀み國際法に通じ如何にして自國の利益を擁護し如何にして他國の要求を拒斥すへきかを知れるのみならす其生來の膽識と巧智を以て頑固一點張りの元老連を壓し居り候加之彼は曾て朝鮮に於て袁世凱の下に領事たりし時代より深く袁と結び袁の直隷總督に陞るや更に其海關道として深く信任を博し外部侍郎に陞任すると共に巧に袁總督の後援を假りて他の大官に臨み居り候者から其云ふ所として行はれさるなく勢力丞々日を指して上る有樣に候彼の外交手腕の如何は清露交渉西藏問題南昌教案税關問題等に於て明に見ることを得へく唯たへイへイと外國の要求に是れ從ふ底の尋常の清國外交家と其流義を異にし常に相手國と平等の地位に立ち國際公法上の根據に立ちて堂々と議論を上下し其主張を貫かすんは止ますと云ふ有樣にて其手腕決して侮るべからす候某國公使館に在り二十年の久しき繙譯其他外交の局に當たれる某書記官曰く余は總理衙門時代より以て今日に至る者清國外交當局者にして未だ唐紹儀氏の如き能く清國主權擁護に巧みなる外交家を見しことなし素より從來の外交當局者も交渉に通曉せさるに非さりしと雖も問題起てる每に若し各國政府の駁擊に會する時は言窮し辭盡き遂に各國の前に降伏すること往々少なからさりき然るに唐侍郎其局に當たりて以來彼は飽迄其主張を擁護し決して屈する事なし余二十年の久しき未た斯の如き手腕ある清國外交家を見すと此れ蓋し某書記官の一家言にあらすして北京外交家一般の觀測らしく彼あるか爲め外務部は從來に比し大に重みを加へたるを想像するに足るべく候

彼は甚しく國權論者即ち利權回收主義にして或有力者か彼を評して Anti-foreigner 排外党と云へるは蓋し是か爲めに御座候彼は此の主義よりして各國の要求に遇へは直に之を拒絕するのみならす若し條約上の缺點あれは直に之に乘じて利權を回收せんとし國際法上より堂々と條約履行論などゝ張し來たるを以て各國公使はタマッタ者にあらす異口同音に頭を傾けて對清外交難を唱へ居り候例へは九廣鐵道蘇杭甬鐵道兩問題の久しく決せさる税關問題再ひ起こり來らんとする者皆唐侍郎の力多きに居る者にして某外交官か今後支那よりコンセツシヨンを得るは實に困難なるのみならす既得の權利さへ回收されんとする恐れありと云るは決して杞人の憂にあらす亦以て唐侍郎活動の一端を推測すべく候彼は外務部侍郎以外に尚税務會辦大臣として滬寧鐵路督辦大臣として幾多の財源を握り居り候へは其富める家は益々富むべく一方此の金力を以て他方袁總督の後援を借り以て廟堂に落ちまは其勢力日一日に隆盛なるべく其將來の活動如何は大に吾人の注目に値すべく候

●鐵嶺軍政署閉署式

鐵嶺軍政署は去る廿五日限り緊急事件の外は裁斷を與へざれども書類の受附は從前の如く取扱ひつゝある由なるが昨三十日愈々軍政署閉署式を擧げ同日は各軍隊長官日清兩國官民の重なる者約三百名を招待したる筈にて軍政官樋口中佐は來月二日出發鐵嶺を去るべきも他の一部分は殘務引繼の爲め當分居殘る筈なりといふ

●公衆電報開始

本月二十五日より左記七個所の軍用通信所に於て和文公衆電報の取扱を開始されたる旨達示ありたり

猴子山　賽馬集　咸廠
双廟子　四平街　郭家站
公主嶺

而して其料金及取扱事項は他の公衆電報を取扱ふ軍用通信所と同しといふ

●二六聯隊軍旗祭

既報の如く八月九日を以て遼陽歩兵六十二聯隊の軍旗祭を擧行せらるゝ筈なりしが或は十一日に行はるゝやも計られず期日は未定に屬すれども兩日の中を選び擧行さるゝに決定しおれるが本軍旗祭は同聯隊の編成後一周年に相當し且つ同地に於ては未曾有の軍旗祭なるを以て一般居留民は敬意を表せん爲め當日は餘興を添へ盛大ならしむる計畫ありといへは當日は定めて盛況を呈すべしとなり

●遼陽軍政署の送別會

來る八月三日を以て遼陽軍政署は撤去するに決したる爲め水澤同軍政官は當日告別の宴を開かるべく日清官民の重立ちたる人々へ夫々案内状を發せられたるが當日は萩原總領事速水副領事も列席さるゝ筈なりと因に會場は先頃移轉したる前衙門衙日本人會事務所構内を充用する由なりと云ふ

●奉天日本人會の解散

去る廿五日午後二時奉天日本人會にては臨時總會を開き、一奉天居留民會設立と共に日本人會は不必要に付き之を解散する件二現在金弁に奉天總領事館開館式當日居留民一同より寄付したる餘興費殘金四百二十七圓四十五錢を小學校、避病院、共同墓地の如き在留民の共同事業に係る尤も適切なる費用として居留民會に寄付する件等を議したるに一人の異議者もなく原案通り決議したる後井上會長は開會以來の經路を述べ三谷副會長は會員一同に代りて會長の勞を謝し散會したり、因に井上居留民會長は今回營口正金銀行詰に轉任する事となり會長辭任したるに就ては其後任として大倉組の茂松直順氏就任の筈なり

●遼陽最近の人口

遼陽に於ける最近の戸數及人口を聞くに戸數五千五百十二戸人口三万九千二百五十六人内男二万七千三百四十四人女一万千九百十二人なりと尚本邦居留民は戸數二百二十六戸人口千七十人内男六百三十三人女四百三十七人なりと是に依りて觀るに清人男女數の比例は女二分の一弱に當るも邦人男女數の比例に於て見れば女は男の三分の二強に當り今尚女數増加の情勢なりといへば遠からず女數は男數を凌ぐに至るべしとなり

●修學學生の來營

二十八日を始めとして日々來營の筈なる修學旅行學生は一昨二十九日東京高等師範學校學生約二百名昨卜は東京府立中學生徒百八十四名引續いて到着し軍政署より特に派遣されたる案内者の案内を受け市中を巡覽し商業學校にて休憩茶菓の饗を受け豫定の如く滿倉支庫に宿泊したるか今日は第一高等學校生徒の一團到着の豫定なり

夜水とる里人の聲や夏の月

●遼陽と修學學生

豫定の如く去る二十七日修學學生の先發隊百六十九名は遼陽に着したるが内五十六名は第七高等中學造士館生に屬し造士館長岩崎行親氏之を引率し島津公爵も學生として此一行に加はりおられ他の百三十名は在東京高等學生にて朝食後兵站業務所よりの案内にて左の順序にて遼陽附近を觀覽したりといふ

一招魂社北方露國式角面堡、一招魂社、一首山堡、一遼陽より南門首山堡に至る本道上の角面堡、南門より城内、一西門より日本街、一公園白塔守備隊兵營

●日本人會館の建築

豫定新市街地の經營は着々として進わし昨今は排水暗渠の築造中にして尚は借區に於ける個人の家屋倉庫等の建築に着手するもの日に增し光景漸く盛大を來せりと云ふべく誠に喜はしき事なるか軍政署にては今恰も公園地の設計を完了し日本人會館の建築に着手する筈にて竣工は來る十月上旬なるへしといふ

●牛莊基督教青年會

此程より牛莊基督青年會設立を企劃せし大河平、石川の諸氏は今回東京基督教青年會と交渉の上輿倉軍政官、瀬川領事、廣瀬、平岡、中村、黒澤、丸山、遠藤諸氏の贊助を得愈々近日を以て發會の順序に運ぶべしと云ふ

●値賀辯護士の事務所開始

法學士辯護士値賀連氏は今回營口永世街三號の一金城館南隣りに事務所を設け一般の法律事務を取扱ふ筈なりと

●村雨私語

二十六日の軍政二週年祝賀は却々盛んであつた在留邦人が斯くの如く熱狂し其衷心を遺憾なく披瀝して感謝の意を表したのは蓋し空前の事業であつたらう▲軍政官々邸に於ける二十七日の夜會は亦た頗る盛大を極めたもので招待された外人等は大に滿足したと云ふことである▲その招待された外人は在留外人の殆んど全部を網羅したものだといふ事で隨分如何はしい人物も澤山に居た▲蓋しその如何はしいものを排けばあとに殘るものは僅々十數名に過ぎないであらうから盛會を旨とするといふ寸方からは矢張此の如何はしい連中を招待したのが適當であらう▲併し規律ある外國人の會合としては稍々亂に終はつた傾きがある▲此夜舞踏數番の後ち午前一時半頃二人の外國紳士は未だ食堂が開けないのにお先きに御免を蒙むつてパク付き始めたのでない隣の酒場から此の樣子を見てたものは何れも苦がへしげに舌打しておつた▲此の二人の中一人は營口郵便局主任佛人フォールゼニーで他の一人は其名を聞き漏した▲隨分人を馬鹿にした動作ではないか否な馬鹿にしたと云ふに止まらずしてまた吾が軍政の威嚴を蹂躙したのだと憤慨したものもあつた▲我輩は暫らく憤慨を止めよう何となれば頭の冷たい學者連中(?)はアレは胃病患者だといつて頓と取り合はないから▲尚ほ或る一方の人はマアへいゝさ露西亞人のやつた時代はソレは亂暴なものだつたよなど、澄ましてる▲我が輩は露西亞時代を知らぬから何とも云はぬが假しんば露西亞人時代がどんなであつてもソレを標準にする必要は些もないのみならず露西亞人を標準にして勝手に擧動ふ外人におべつかるにも當らないぢやないか▲而のみならず其舞踏の態が甚だ亂痴氣を極めたのであつた尤もクロムプトンなどの舞踏家は現時の舞踏は其の品格を失つてるアレは舞踏にあらずして野卑なり跳ね廻はりなりと云つてる▲厭にひねる樣だがエミルライク博士はアレは床板を無樣に磨り廻はるのだと冷評してるその所謂舞踏中の舞踐だから耐らないのも無理はない▲或る國の外交官は此の種の夜會は最も賑かで而して其中に美くしき自然の制裁あるを貴ぶが故に招きすべき相當人物を各國領事の手を通して成るべく廣い範圍の中にとるてとにしたら會集の總べてが厭な思をせずに濟んだらうといつてた尤もの樣にも聞える

●その日その日

門外生

▲旅順の降將ステッセルは遂に死刑の宣告を與へられ候由西電の齎らす所に候嗚呼人道のため且は博愛の爲め凜々たりし勇將偶々以て鄉國の上下に容れられず終に此非運に際會す吾人實に一掬の淚なからざらんとするも得ざる所也

▲輸送營業規則の改正は滿洲輸送業者に大打擊を與へたるもの、如く非常の狼狽致居候由なるが元來該規則の改正は早晩行はるべきもの今更ながら此間のまぬるさには呆るゝの外無之候

▲近來日本海及び黄海に於ける航海業の競爭非常に激甚ならんとせる由に候處斯かる小範圍に全力を擧げて大競爭を敢てするが如きは吾人か大に取る能はざる所不面目また甚だしと申すべく候

▲露國々會は遂に解散せられたる由に候處明日の運命も推知する能はざる露國の狀境は益々險惡の雲行と泪成革命党の騷亂また一層の激烈を極むる事と存じ候

▲政局多事明界人を要するの時吾人は兒玉大將の訃を聞き恍として夢の如き感に打たれ候人生は朝露の如しと又いかんともすべからず候へ共國家の不祥事此上もなく候

新作小說　おとし胤

徳田秋聲

六十五

庭と謂つても、此處はもう庭に續いた山林である。此の林が、邸の外廓となつて、遠くから見ると、海鹿家は宛然に鬱蒼たる森林のうちにあるかとも思はれる、林には、大きな槻もある、栗もある、楢もある、また杉や榎も混つて、烏渡山家へでも行つたやうな趣が見える。

夏であつたならば、晝も暗い。雖然秋も半過ぎたのであるから、樹は大方落葉して疎になつて梢を透して直射して來る日光は、明い陰影を作つて、實に靜寂である。鳥が折々啼出してはまた、少時默つてゐる。庭の方の騷は、何か物を隔てゝ浮世の香を聞くやうか微かに響いて來る。

光は、少し氣が落着いて來た、頰の熱も冷めて來る……而ると其となく父に謂はれたことが、胸に衝上つて、耐らなく心苦しくなつて來た何んとなく、後護いたやうな、空恐ろしいやうな妙に心が怯えて、誰か耳元で「そら氣を付けるのだ、父に謂はれたのは此處だ。此處の、のことだ。男といふものは恐ろしいものだぞ、うかへしてゐると、また阿母さんのやうになつて死んで了はなければならない「ぞ」と囁くかと、思はれる。光は、何んだか襟元から水を浴せかけられるやうな心地がした。

「眞ンとだ、私は、何んだつて、此樣な處へ來たのだらう。」

悚然として、きよろへ其處らを見廻しながら、寧會場の方へ引返さうかとも思つたが、何しろ大分林の奧へ入つて了つた。それで踏切つて、其の氣にもなれない。殊に心の底の底を謂つたら、熱田の傍を離れたくないのた。彼女は、父の警をも深く心に刻むでゐるのであるが、熱田の輕快な調子にも心を吸付けられてゐるのであつた。それで、とつおいつ思案だ。

思案してゐるうちに、光の肩は幾度となく熱田の腕に觸れた。彼の體の熱は幾度か光の體に通つたそして、兩人は何といふ的もなく、樹と樹の間を縫つて、林の中を徘徊つてゐた。此くて何時とは無く兩人は手と手を固く把り合つて了つた。光は、宛然に夢でも見てゐるやうな心地。

「光さん、貴方大變に鬪いで在つしやるやうですね。」と熱田は、光の顏を覗込むやうにして、「何んたつて其樣なに默つて在つしやる。」

日報俳壇

夏の花十首　はまのや

澤瀉の花あつさりと咲にけり
浮草の花や縮の躍る泡
藻の花や池の緋鯉の簾越し
河骨の葉を隈とりぬ鍋の墨
蘭の花や青田の中に眞ツ四角
鴨足草咲や峠の柄杓井戸
凌霄花や見越の松に咲き下る
晝顏や馬寢轉んで背を摩る
蒲の穗を鷺鳥のさばり出たりけり
鷄に砂浴せられたり棉の花

▲夏季雜題　句數又期日を限らず
▲課題　雲の峰　蟬　午睡　七月末日迄本社編輯俳局壇宛て御投寄を乞ふ

營口地方天氣豫報
自二十八日午後六時
至二十九日午後六時
南の風
晴

社告

一週年大福引會豫告

今回本社創刊第一週年記念として聊か讀者諸君平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引會を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈する方法を採ると致しましたその景品中の重なるものは

一等 金時計(天賞堂保險附) 一個
二等 貴婦人用帶地(白木屋呉服店) 一筋
三等 純金指環(大西白牡丹製) 一個
四等 上等洋傘 一本
五等 縮緬兵兒帶 一筋
六等 縞毛布 壹枚
七等 フランチル單衣地 壹枚
八等 勸業貯蓄債券 壹枚
九等 卷煙草入 壹個
十等 言海 壹部
(十一等以下は漸次發表します)

等であります、月極讀者は勿論今後滿一ヶ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追ふと我紙上に掲げます

右發表と共に當地著名旅館料理店主より左記頭書の如き寄贈を申込まれ其分配方法は本社に一任せられたるを以て社員一同協議を凝したる上それ〲等級に當嵌め近日中に發表する事を致します

▲白米 一俵　第三樓
▲八丁味噌(大樽)一丁　金城館
▲手拭 十反　日本館
▲エジプト紙卷莨五箱　第一樓
▲種縮緬上等兵兒帶一筋　奉天金城館
▲臺灣製夏帽子十個　醉北園
▲玉突券五十枚　第二軒
▲平野水四ダース二箱　東邦亭
▲エジプト紙卷莨二箱　三日月樓
▲澤庵積一樽　公樂園
▲麻製ハンカチーフ五ダース　東雲館
▲麻製ハンカチーフ五ダース　大和館
▲敷島紙卷莨二十入三箱　萬直し
▲等西洋料理券三枚　牛莊ホテル
▲ンチル上等洋服一着　富永洋服店

滿洲日報社

●支那通物語(三)

夫れから足だ是れは頭よりも顔よりも一番日本人の困る所だ、支那人の足は拇指か第二指の下へ曲り込で第二指か其上に重つて居る而して全指頭か下方に屈縮して居る其の上左右兩足か殆と同形で双方共其の中央か尖つて居る、此れは小供の時から尖つた小さい靴でメつけてそして鞋か其の褌と同じく左右の區別か無い結果である、試に支那人に着鞋さすと左右何れても同じ様にチヤント足に合ふ、日本人は板の上に繩を付て指先て挾んで歩いて大きくなつた、足の指たから、一朝一夕には迚も直らぬから比較的目に立たぬそして鞋の保存も良い廣東鞋、尖端迄鞋底のついて居るのを用ゐて椅子にかけてゐるときは成丈其尖端の內方即ち尖つた片方を人目に立たぬ樣にする、雨天は固より其他多くの機會には水鞋を用ゐるは更に安全だ、そして何れとも成丈寛大なるものを擇ぶのだ、身体の外の部分は、どうにか誤魔化しかつくか足丈は裡体檢査を受くれは最後だ、戰役中此點て發覺されたのか少なくない、ロスかてんな簡便檢査法を足の爪は手の爪と反對て毎に剪み取る事ろ削り取る、元來か滅却してあるのたか、支那人は此丈は清潔だ、風呂屋には床屋、三助の外に脩脚的といふて足の爪や足底の厚皮を鐵刀で削り取る職人か居る、風呂屋へゆけは日本人は假令脩脚しなくても白晝は避けるか好い、三助も呼はぬか好い、足を見られる恐かあるから………。

皮膚に生毛か多い人は成丈支那人に見せぬ樣にする、多いからといふて強ち支那人に非すといふ譯ては無いが支那人は極めて疎い、寢る時支那人はどんな寒天でも褌を全脱するか日本人は褌丈は取らぬか好い尤も注意するのは襪た、支那人は褌と共に必す取るか此れも脱かぬかよい、夜中は好いか夜明け其他に足を見付られる、序たか私は此實驗て知つた、毛の沓下丈を穿いて裸て寢ると翌朝床中の虱か悉く此沓下の裏に付て居る、試して御覽、

今度は起居擧動た、第一は歩き方だか足を外輪に跟から下す、膝を曲けぬ、大股に併し温柔に歩くと同時に兩手を伸下して緩大に搖る、上流になるほと益此調子で悠長な大の風を現はす、視線は一定せぬ、無神經らしくそして傲慢た、走り方も從つて違う坐り方即ち腰掛け方は是は外輪の儘て股を擴ける、中以下又は懇意の間柄ては片足時には兩足共自分の椅子の上へ揚けて地上同樣蹲踞の風をしたかる、坐臥共足を人の前へ投出すのは少しも構はぬ、物を足て取り物を足て敎へるのも平氣た、

手鼻をかむは西洋人と變らぬか日本人ても實地て習へは直ぐ出來る、上流ては半巾て拭取ることもある、が人前丈の樣た、唊唾を吐く時日本人は咳拂か勇氣か有つて、さて向ふの方へピユツと吐き飛はす、支那人はゴロ〱と喉に溜るのを待て、ビーツと眞下へ吐き落す、小便の際日本人は第二指と第三指て支へて掌を內向ける、支那人は拇指と第二指て扱つて掌を外向ける、自分の目から見えさへせねは人にも匿せると思ふのでもあるまい、大便の時日本人は縱に跨かる支那人は横に構へる、

●紀念祝賀會の光景(下)

豫定の時刻となるや豫て案內狀を受けし日淸人等三百餘名陸續來會し之れに料理店組合の藝妓酌婦の連中を加へ無慮六百餘名と注せられ左しもに廣き官舍庭園も爲に立錐の餘地なき程人の山を以て築かれたり斯くて六時となるや與倉軍政官以下各員の案內にて豫て設備の立食場に導かれ叮嚀なる饗を受け宴酣なるの頃軍政官與倉中佐は徐ろに食卓の中央に進み嚴肅なる音聲を以て一場の挨拶をなし終つて同官の發聲にて兩陛下の萬歲を三唱し各自之に和し次て渡邊旅團長は當日招待せられたる軍人側を瀨川領事は日淸人側を代表して謝辭を述べ各自十二分の歡を盡して散會せしは實に午後十時過なりき、而して當日の余興(各催し中第一の呼物として廿日以前より頻々各自の話題となりし旅館料理店組合の催しにかゝる餘興手踊は再三既報の如く全組合を三區に別ち夫れ〲思ひ〱に意匠を凝らし技藝を練習したる結果何れも當日は意外の好評を博し頗る來會者に滿足を與へ取り別け第三樓男衆の仕吉踊より引拔き松づくしの舞は觀客をして一層拍手喝采を博せしめたり又會場外に於ては當夜の興を添へん爲め碇泊中の島海號にては特にイルミネーションを點し水雷艇三十八號五十一號亦サーチライトを照らせる外遼河輪船組合はジヤンク十數艘を公園側に横着け橋頭高く球燈を吊して紀念祝日の字を拔き出したるは好き思ひ付なりきといふべく材木組合の提灯行列亦人目を惹き軍政署前公園附近元神廟街永世街二本町[illegible]淸國人及び在留外國人の見物人を以て塡咽し營口ありて以來稀に見る所の盛會なりき

●營口座　倒れては起き、起きては倒れ殆ゆ達磨の如く其間に種々なる惡評を流し爲に世人より同情を失ひ倍ゝ悲境に陷り好美圑一座の連中は最早今日にては如何とも詮術なきも思ひの外又候爰に三名の俳優加はり本夕より開演する由にて其演題及び役割は左の如し

藝題 服從は國家爲 訓誡は自己爲 武士的教育 全七幕

序幕 樺島大佐宅の場
二幕 浦部道夫病室の場
返し 浦部初子部屋の場
三幕 樺島大佐宅の場
四幕 砲臺建築の場
五幕 櫻田訊問の場
六幕 風雨格鬪の場
七幕 大團圓 觀迎會の場

登場人名 イロハ順

櫻田勇吉 伊井薰 令孃民子 伊藤靜夫 畑島權七 北岡業郎 浦部初子 川上猛 陸軍少尉荒川善藏 春日定淸 浦部道夫 川上一郎 人夫吉 吉村萬千雄 人夫頭作衛門 肴屋 山縣鮫馬 人夫熊 藤田義雄 源谷與一郎 秋山次郎 人夫丑 荒川淸 陸軍少尉大田原造 八百屋 櫻井一醉 人夫道子 木下薰 陸軍大佐樺島照忠 松尾亮

●輕業曲藝　二本町松榮座横手の廣場にて本日より輕業曲藝の興行ありと

●ハイカラ便所　市の中が此頃は中々やかましくなつて來て、ハイカラ、ハイカラの呼聲高くなつて來たが、中にも東京向雨國の料理店大津樓と云ふのは非常の新奇家で、通人粋客の呼所であるが、此はせ新築せし便所は實に甚だしいハイカラで一度踏板を跨ぐ時は嚠喨美妙な樂聲が起つて身の臭裡深き所にあるを忘れると云ふ事中々趣味ある企である

廣告

一弊堂志方商店事今般都合に依り內地へ引揚候間本日より來八月三日迄殘り商品「メチャ〱」大安賣 尙直し時計は合鑑と引替に右日限內に御渡し可申其後は無効と御心得被下度此段廣告仕候敬白

元神廟街 時計商 店主 志方商店

敝舖刻下因有要事欲今回本國今定於自本日至日曆八月初三爲度所有殘商品等概行大安價賣倘敝店有客人修理鐘表亦是至同日悉返付換敝店先給票若經過八月初三雖有票亦不能返付玆特廣告諸速來敝店取換可也

元神廟街 志方商店 鐘表舖

營口 (周) 電話八一
西北街 裕和盛
雜貨 洋酒 煙草 卸シ 小賣
大連 南洋 湖北 彩票 販賣
鑵詰 紙化 粧品 特ニ 安賣
東淸 鐵道 遼河 貨物 運送

祝開業一週年

弊店儀皆樣の御引立を蒙り日に月に繁昌仕侯段難有御禮申上侯就ては今回開業一週年を期し內地より藝妓仲居新顏を呼寄せ座敷等も閑雅に夏向は殊に納涼に適ふ樣大に改良仕明二十六日より來八月八日迄左の方法を以て御客樣の興を相添へ聊か平素の御愛顧に報ひ度侯間何卒御誘合せ御光來の程偏に奉願上侯

福引會席御料理 壹圓

左の十二月に分ち御引出の籤に當りたる月に依て差上可申侯

正月 ビール二本 會席五品 藝妓一時間
二月 會席五品 御酒一本
三月 會席五品 ビール一本
四月 會席五品 御酒二本 敷嶋たばこ一
五月 會席五品 ビール一本
六月 ビール二本 會席五品 藝妓一時間
七月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
八月 會席五品 ビール一本
九月 會席五品 御酒一本
十月 會席五品 ビール一本
十一月 會席五品 御酒二本 敷島たばこ一
十二月 會席五品 ビール二本 藝妓一時間

月 日　營口豊濟門街 柳亭

祝開業一週年

東省巡航公司業務廣告

本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸汽船ホーチン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす

本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依賴に應す

御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候

本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す

賃銀

自＼至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

回數切符は特に割引可致候

列車連絡時間表(日本時間)

東稅關午前五時發　牛家屯六時三十五分發列車に連絡
仝午前六時發　河北七時發列車に連絡す
西稅關午後七時四十分發　牛家屯發九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發　牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時發　營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發　河北五時四十分の旅客を迎ふ

營口元神廟街第五十五號
東省巡航公司 白謹
電話番號二百三十六番

●盛進商行●

革麻坐蒲團
旅用衣裝鞄
婦人用洋傘
洋服附屬品
流行靴各種
椅子類各種
卓子簿記臺
油多加織類

品質の精撰と薄利は弊行不動の主意

幸御愛顧の榮を給はらむ事を伏て奉希上候

營口 三友洋行雜貨部廣告

新荷着

高等化粧品各種　新柄子キタイ
旅行用鞄及靴　氣發油ランプ
新形夏帽子及鳥打帽子　各種
雨合羽　長靴　姿見鏡
四季造花
御婦人用小間物

白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約 東京タクアン 其外和洋酒類

永世街第廿八號
大原洋行
(無比廉價販賣す)

軍隊用雜貨
日用品雜貨
呉服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣
石原商店
營口永世街七十號(第二市場東)
其外新荷着精々安價販賣

官准老牌
登錄商標

桂林（けいりん）
神効臭蟲藥粉
各國大博覧會名譽賞牌數個受領
另名驅除諸蟲藥粉
購置者宜保置於乾燥無濕之處以防過濕氣
（藥價）每罐洋一角
大日本始祖 發售本舗 大阪伏見町堺筋東入（電話東二四六六番）淸水桂林堂藥房
代售處 營口永世街 回天堂三本大藥房（電話百九十番）
同 遼陽西街 足立大藥房

本堂鑒製神効蟲藥粉ハ驅除、臭蟲、乞蚤、虱子、紙蟲、蝎等一切毒蟲効驗頗異常眞希世之妙藥也即床榻、書棚、衣架等之處撒此散所有毒蟲亦皆斃死又有家畜如猫狗鳥類及各種毛皮毛絨等常爲蟲傷者擦入此散於羽毛中亦蟲害死又將此散置入火中焚之蚊蟲蒼蠅等聞之或斃或逃矣然人吳食之毫無貽害眞居家行旅不可欠之神散也

醇良日本酒
金露
孔雀印平野水
サッポロビール
大販賣
和洋雜貨 洋酒化粧品 千賀洋行 奉天鐘樓南大路西
酒類 食料品 千賀洋行支店 奉天小西關大街路北

○板材木 ○蚊帳
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醤油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
（石）
石光洋行 營口西北街
遼陽西門外 石光洋行支店

氷
田庄臺大盛貯氷公司 勞政府御認可 飲料好適
發賣元 營口元神廟街成功號三階（電話一三四） 田庄臺大盛貯氷公司販賣部
特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松木氷室

廣告
高等 麥酒スペシャルライト
スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
本月一より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元 營口元神廟街 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 關東公司雜貨部（電話五番）
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口靑堆子綏定門外 志岐組 商業部

土木建築並ニ測量設計請負
營口靑堆子綏定門外 志岐組

營口—大石橋—海城—湯崗温泉—遼陽—奉天
○全停車場
滿洲第一湯崗温泉
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀傷
風景佳絶、旅館、料理、遊技完備

會席料理
三日月
營口警務課前南江入る

和洋 會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に濟附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

歐米各國最新流行形
西海洋服店（電話二百十七號）
永世街一四一（森病院三軒目）

御料理旅館 三河樓支店
弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本家風の二階屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上
樓主 川上總吉

改名 業務擴張廣告
御料理旅館 元吐月改め 東來館
遼陽陳家街破氷門より東へ入る右側
今回元吐月を東來館と改稱致候に就ては萬端を刷新すると共に業務を擴張し精々勉强可仕殊に御料理は輕便を主とし時節柄一層吟味調進可仕候間陸續御來館の程奉希候

支料理
滿月 平野町（電一六二）
滿月支店 平野町入口
店主 青木勝惠

遼陽兵站業務取扱所御指定旅館
遼塔ホテル 遼陽城外喇嘛塔下
遼東館 全城內東街
滿洲ホテル 全城內西街
浩氣館 全城外喇嘛塔側
藝陽亭 全城外西門外通
遼陽館 全上
東洋館 全城內東街
滿洲館 全城內北街
梅廼家 全城外西門外通

◎煉瓦販賣
上リ竃ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニデ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行 煉瓦製造部（電話九十番）

資本金參拾萬圓
日清合股
昌
滿洲昌圖 株式會社 營口分局
營口元神廟街第貳九八號
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辨左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路要各站分局現方在設備中倘蒙遠運貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷以謹白載路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包賠此

新荷着
裝飾用品 洋食用品 肉碎器 秤 卅六貫以下種々 手提金庫 ニッピー用 附屬品
愁掛及附屬品 夏帽子各種 戸田式濾水器 宇治新茶 ワイシャツ及カタログ 學校用文房具各種 各種復寫簿
東關公司雜貨部（電話五號）

硝子、陶器、藥種、雜貨、質商、魚菜
ラムネ、榲柑水製造販賣並に淸酒金水、龍印特約一手販賣其外洋酒類
特にラムネ及榲柑水は夏季の飲料用として原料を精撰吟味す
遼陽西門外街 林洋行

御料理旅館
扶桑館
奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号
館主 堀田ハル
電話 号

淡谷木局
本號開設營口東靑堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小檁子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知詳此廣告
東靑堆子橋南 淡谷木局

牛莊松岡病院
內科 外科 眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血淸療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄（電話一五一番）

東洋雜貨 貨眞價實
加藤洋行
東海關後街
本行 天津 營口
分行 北京 大阪

病室增築輕便入院
是迄病室少く多數の患者の需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便に懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす
○全身魔醉○局處魔醉○嶄新器械○無痛手術○
○梅毒○婦人科○外科○胃腸病 專門
日本醫院

宮門抄

二十九日
工部 鴻臚寺 正藍旗値日無引見 額勒春假滿請 安
召見軍機 練兵處遞封奏二件

論說

譯日本太陽報清日同化論

日俄戰後。日清同化之說。騰口于東方學者。黃禍之結果。其胚胎於是乎。自日俄戰爭以來。支那人之支那。頗觸全國人之觀念。近日外交手段。已有收回權利之思想矣。英人馬禮遜博士有言。美國之調和。徒使支那人牛驕慢心耳。故美國近增馬尼喇之駐屯軍。以備清國之變。最甚者。南清教案起。列國傳教士。公言其自衛之上。有武裝之必要。就形勢而觀。未知何日釀大禍於東亞之大陸也。夫清國之危難。即日本之危難。東亞平和之大局。與日清兩國之禍福。相爲維係也。現任內閣西園寺侯。計畫戰後外交之急務。以與清國敦厚親睦。披瀝我日本之至情。共圖文明平和之進路。爲第一政策。此非但西園寺侯之宣言。凡我國民無不表同情者也。然而支那大陸之現狀。因內外二大勢之逼迫。其危難幾乎。及于全身。滿洲蒙古。支那之前後頭部也。而北京爲中心。直隷山東山西河南湖北及江蘇爲胸臆。湖南雲南廣東廣西爲四肢。自頭部蒙古。直下陝西甘肅四川貴州經天山南北至支那土耳其斯担及西藏。則支那之後背。而此頭部及四肢背部。二千州縣。凡四億萬人。均在內外逼迫之二大勢力中。夫所謂內迫者何也。支那平日政治之組織。朝廷草野思想懸絕。不易融和。近日國民染世界之文化。動有急激革新之思想。而政府則統治之痴夢。今尙未醒此新舊思想之衝突。實隱含種族之暗鬭。雖議立憲。恐政府亦不能如外國之持平也。民情不服。反對之心起。而東亞和平之局壞矣。內憂如此。幾使人四億萬人之骨髓。況有外患由其頭部亘於五體。由外以逼內乎。列國勢力之東漸。日日澎湃。有不許清國之猶豫者。當日俄戰爭之前。俄國扼滿洲而虎視支那之中原。不特扼支那之前頭部及咽喉。幾加白刃於支那之胸矣。我日本以一小島乾坤一擲。不惜犧牲而驅逐之。所以維持東。亞之平和也。與英同盟。共負保全支那領土之責任。然此責任之重。實不容易也。直言之。英國不幸。若不能完此責任。其結果雖非直制英國之死命。然我日本則不可不爲第二三日俄戰爭之大決心也。我日本因戰勝於俄國。僅使支那。稍免其首部至胸臆之危難。其四肢及背部諸列強。之發展力猶依然也。諸列強之發展力。除俄國外。皆據財政上之基礎。而後遷移乎政治上之圍範焉。支那之前後兩頭部。即滿蒙二洲。日俄戰爭。不過一時之頓挫耳。現今議和已成。俄國竭力經營哈爾濱。仍認作北滿洲之根基。爲對東亞軍略商略政略之三大中心點。又以浦鹽爲海參威之防備。次第在滿洲計增其輸送之力。即在蒙古。俄國之勢力範圍。亦佔四分之一。考清國在蒙之領土。一千三百哩耳。而三百哩之領土。業已歸於俄國領事館保護之下。自(庫倫)及(窩闊囒)。(烏里雅蘇台)(塔巴哈代)(烏蘭普秩)(睥魯伽)(喀什噶爾)(哟干特)迄至西藏。其間皆有俄軍星星點點之嗆丘寨。腹背相接。而俄國對西藏之懷柔策。結蝲喇麻籠絡喇麻教徒。即於其支那之背部中央亞。細亞力行其蠶食之政略。自(裏海)(庫拉斯瑙布德蘇其)與支那國境天山脈。迄至葱嶺附近之(萬魯欣須喀雅州)敷設其鐵道之交通線。更由西比利亞。(德穆斯庫)至(敖須干特)鐵道遠布。(喀什噶爾)(至喀布爾)路線亦將竣功。自是漸經天山南北之交叉線。以向支那中原之伊犂鐵道矣近日清國政府。欲借比國資欵經營此道俄國極力反對。遂被中止。虎視之雄心何嘗須臾忘哉。(未完)

中外要聞

●新任日使提議六事　日本新任公使林權助到京現由外務部提出六事與之交涉(一)在大連灣(靑泥窪 適用中國稅關章程(二)鴨綠江之森林由日中兩國合辦(三)撫順炭礦須由日本交還中國(四)商定奉天安東大同鐵嶺租界事宜(五)明定滿洲地方官之權限(六)南滿洲鐵路及由該鐵路運送貨物各項章程須詳細訂定

●澤尙力主立憲　澤尙二大臣公具奏摺力陳憲法萬不能不速立其奏稿極詳明先遞此摺然後入見覆 命兩大臣皆言甯願爲頑固者所斥逐棄却官階而斷不能不堅持立憲之說云

●澤公尙大臣抵都補誌　日昨初三日澤公尙大臣到京已紀昨報茲探聞當兩大臣未到之時袁公保密電陳觀察簡池到津護送澤公等是於日坐華車進京外城總廳密派東北兩分廳派警官督同巡警由南豁子門起至前門車站凡屬鐵路左右排隊伺候禁止行人來往午間十一鐘三刻澤公等係坐常車進城云

●副車先到　此次澤尙兩大臣回京津中官場恐蹈去年炸彈之故轍故戒衛甚嚴先派一花車僞爲二欽使之車該車於三二點鐘前先開行來京遲數點鐘而後澤尙二大臣之車繼發先行之花車載二大臣之家人行李由津抵京澤尙兩大臣之車則到豐台即繞入京漢鐵路之路線由西鐵路來京直抵西直門盖爲此辦法亦防維甚密矣

●粵督電奏英船刼案　廣州英船西南被刼船主轟傷醫生殞命一案刻接粵東來函此案實因匪犯持有手槍混充搭客而起當岑督在梧時與英領商議派勇在船保護並檢查搭客身上有無夾帶洋槍屢飭稅務司勸英領事照辦奈未見實行此次肇事岑督謂早經料及已將案由電稟北京政府請照會英公使辦理並派員嚴密查究現船主維洛司所傷腹部已將鎗彈取出不致有性命之虞云

●粵路私舉總副辦自相衝實　廣州訪函云粵路私舉之總副辦鄭官應黃景棠五月二十六日因用人各執己見互相衝突盖此次聯絡岑堂營謀總副理黃景棠最爲盡力援引鄭官應者欺其年老易爲傀儡耳黃之部下如曹駕歐羅少翺等又頗有猾才路事把持黃强而鄭弱然鄭既登舞臺附驥以謀利者又豈無人其衝突當未有艾也

●袁京兆回湘之實情　查得袁京兆之回湘確係因去年上海之案英公使有遺言故政府派其回湘辦鐵路不必到京兆任此外實無別故而外間傳言謂袁之去京兆乃係外部某侍郎恐其善辦外交將來恐陸侍郎而逼已故托詞英使以擠之此說似不合情理盖袁即爲京兆亦未必陸侍郎因京兆一缺多有外放巡撫藩司者也即陸侍郎亦未必係外部即爲外部侍耶亦未必能逼人況且袁之外交手段亦未見眞好而外部唐侍耶留學外洋又久辦外交皆無貽誤何必定要袁入外部始有人辦外交乎京中人好傳謠言而按之情理每不能合如此類者甚多也

●日設銀行漢口　接湖北訪函云漢口向日只有匯豐道勝兩銀行現在日本以開闢租界在邇特設正金銀行於大智門外已聘瑞記洋行買辦井維行氏爲經理

●魯屬盜風　接濟南訪員來函山東之鉅野濮州鄆城縣屬地方近日盜賊充斥任鎭臺緝捕殊不得力三令尹通稟上憲聞楊蓮帥擬派武員赴勦云

●將開放吉林長春兩埠　俄國政府遵照日俄條約定于西八月一日將長春迤南鐵路交日本政府接辦聞日本政府接辦之後與中國磋商遵照中日條約將該埠開爲商埠且俟駐吉林俄軍撤退請中國照約開放按長春吉林兩埠係日俄兩國勢力接衝之地不但於日俄兩國關係至重亦於東亞大局頗有關係故我國政府宜速開放兩埠爲通商埠任洋商在彼自由通商以合群力而抵俄國之奢望也

●唐侍耶於外部之地位　唐少川侍郎留學于西洋者多年回國之後充任領事海關道等職常當撙俎折衝之局學問淵博閱歷亦深實我國諳練外交之熟手也故上年陞任外部侍郎世人以爲得人額手相慶以示倚重詎迨其辦理南昌教案因中法教約不副世人之意見民間士紳噴有煩言然據外交界消息云唐侍耶通曉中外情形諳練外交事務遇事辦理交涉條理明晰意見透徹非尋常外交家可比例如南昌教案亦保全中國利權決匪淺詳云云

●長將軍尙未到伊犂原因　新簡伊犂將軍庚電奏因奉旨飭令行抵新疆盤査庫欵當因新疆協餉係由甘肅藩庫統收分解所有收支數目向俱造冊分咨甘肅備案應用在甘查收底案抄錄帶往方有根據以致稽延時日焦灼萬分現已抵廸化據實查核俟有頭緒再電上等語

●擬築庫倫抵恰大路　庫倫大臣現以庫倫達恰克圖爲商務往來要道將來張家口達庫倫修築鐵路後必須展修庫倫達恰克圖之鐵路然至速亦須三年後方可籌畫及此刻擬先由庫倫築大路一道直通恰克圖以便商務之往來所需經費擬由恰克圖茶稅項下提撥以濟急需等語

●請另派京張工程師　聞京張鐵路工程師詹觀察因岑宮保電調回粵辦理粵漢鐵路事宜將岑原電呈袁宮保閱看請另派員接辦京張鐵路工程之任云云未識慰帥允否

●西報要聞譯錄　京西津報云商標註冊章程前在商部改訂刻已咨送于各國駐京欽使已經其允認按商標註冊章程各國爭執之未了結者因該章程內載有凡商標搆訟案件均歸商部裁判字樣而各國公使因中國認有領事裁判不允認此項條件彼此堅持互不相下故也然如京津西報所載果係確實則非各國公使讓步之結果恐商部大爲退讓以註銷此項條欵之結果矣該報又云據四川萬縣二十六日電云該地一帶近日霖雨連日地爲之崩壞居民數十名被其壓斃其附近一帶電桿亦多被坍倒目下鄂省抵川省之間電信不通正在派員修理之際

●橋燬責村民賠修　日前京張鐵路之浮橋無故焚燬一節已誌前報茲該浮橋附近各村人云該段路工委員擬將附近各村嚴行究辦否則令各村籌集欵項賠償該浮橋云故現在附近各村民異常憂懼

●霍山會匪復起　皖省霍山縣會匪復起滋生風潮勢極猖獗當由皖撫恩中丞派兵前往勦撫

●彈壓揚州飢民　蘇省揚州飢民滋擾一節現尙不靖由蘇撫陳中丞飭令駐紮鎭江兵勇二隊前往彈壓

●粵督對報館之意見　粵督岑雲帥飭令所有城內報館決不允准橫議路政事宜又派人赴香港密偵該地報館主筆與訪事員之舉動如何

●反對聘日本技師　粵漢鐵路襄辦王慶道(由粵省紳商選舉充爲襄辦)議聘日本人爲工程師股東頗爲反對

●回部貢金　新疆色勒庫爾地方之南坎巨提回子部落循例遣派頭目摩韓美德拿星齎呈進貢砂金一兩五錢呈交喀什噶爾道袁鴻錫申報新疆巡撫解送理藩院轉送內務府交納恩賞給大緞二疋乃飭理藩院驛寄新疆巡撫頒給該部祗領

●學部擬裁撤學堂獎勵　學堂奏定章程內載各學堂畢業獎勵予以翰林進士舉貢及各項官階聞學部近擬一律裁撤曾於署中提議此事署內司員主裁撤者居其多數特集各學堂監督會議大學堂監督李家駒亦無異言譯學館監督黃紹箕氏則謂宜給以文憑獎以文位實業學堂監督紹英氏謂中國學堂近甫萌芽若將各項出身官階驟行裁撤恐無以鼓勵學生之志氣意見各別亦各具理由故學部一時尙未能決議云

雜報

●恭送小村男爵赴英　駐英日本全權大使小村男爵今日由新橋啓節赴任內閣各大臣列國欽使以及中外官紳二百餘名均赴新橋車站送行誌別

●英德滿意界務　英德兩國關於東部亞菲利加境界簡派委員劃定境界一事已經確定兩國均形滿意

●虐媳續聞　揚武門外王銀匠宅院賃居之蘇媼虐媳徐氏仰吞烟膏殞命昨已登載本報今聞其里隣所云該媳素爲該媼所虐常於夜半縛媳双手復以敗絮塞媳口內然後用棒毒捶遍身幾致体無完膚昏暈數次方止每當縛媳手時其院外諸鄰悉聞該媳哀乞繼以號救頃而則聞棍楚之聲不已可恨其房主院鄰莫敢攖媼之鋒皆坐視袖手而不救焉咸曰該媳恐被媼捶斃乃用烟膏抹入口內託言吞烟而殞耳及曉媼着人送信於媳之胞姊于氏託言媳染暴疾該姊急來探視將及中途又着人報信言媳氣已絕矣迨至蘇家啓驗屍面始吞烟殞命咸疑日吞烟猶未必眞現其事聞已私議完結令蘇家出資殯葬云

●海賊分散　昨由南來人云先前海外捐船各賊統綁綑船人票壹百二十餘名尋經人再四關說每票決要銀洋四百元方許歸贖嗣後綑船業以萬出無奈一一照賊所要如數將人歸贖統捐四萬數千餘元賊等罄已滿故分上下等次按股俵分散去云

●暗查計訪强盜　昨聞埠民云日前某夕有四匪於牛家屯車廠外搶刧行客銀洋四百餘元當已均分其三賊囊括遂遁其一賊某甲淹居廠外店內賊等搶刧事爲衙署所聞乃派暗查粱某暗行車站一帶秘訪乃扮肩挑貿易小販形狀肩擔二藍層列鮮樂諸品手執籤桶藉爲售貨之由尋至甲居之店見甲衣裝不類平民揮霍錢財不啻糞土粱向詢及鄉貫姓氏幷與納交語語傾心相見恨晚次日甘與訂盟遂爲昆仲甲又浼粱爲其擇婚粱乃託言姻妹置而且賢弟主媒議一說必諧云云於是甲欣然以爲知己遂將身之底蘊和盤託出粱乃暗通電話於兵卡所急來數兵將甲掩拏綁後甲謂粱曰我誠不知兄乃若此好友待死後轉世亦必與兄接爲至交絕無懷怨之意等語粱曰兄言若爾迨至衙署决不使爾受拷刑焉於是同進埠內衙署未悉鞫供若何曾否定罪云

營口小旅館料理店案内 いろは順

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（營口ホテル）
料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎
料理 一力 營口永世街 店主 堀万助
旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉
料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎
旅館 東京樓 營口新市場前（電話一七六番、四四番） 店主 熊田象次郎
旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三丁程
料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏
料理 沖の嶋 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎
料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好
旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 井山小みつ
料理 樂々亭 營口元神廟後 店主 武部貞
旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一番） 店主 前田九一郎
料理 萬梅 豊濟門街第百〇四番 店主 島田彌助
料理 まんなをし 永世街字二本町 店主 和田常松
和洋料理 公樂園 南永世街
料理 喜樂亭 營口平野町
料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか
旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎
旅館 品川館 營口永世街二六號
和洋料理 松月亭 營口元神廟街一一三四 店主 和末松信太郎

爲替相場（七月廿八日）
日本向 百〇一圓七十五錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二分ノ一（同）
天津向 一百四圓十二錢五厘（同）
芝罘向 一百〇三圓六十二錢五厘（百弗に付）
日本郵便局受拂軍票相場 金一百圓に付 一百二圓

料理 醉花園
料理館 澁谷旅館 永世街百二十七 店主 澁田留吉
ざるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話□）
會席御料理 天神樓 奉天小西關大街北側（電話□）
高等御旅館 温泉付大勉強キレーデチイシヒ 奉天小西關大街南側
旅館料理店 日清館 館主 入江熊男（電話□）
御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ
旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字南街へ入（電話□）
高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五番）
御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北
御定宿 第一東京館 奉天小西門外 館主 松田平四郎 今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑静を主として旅館と業に罩ら御客様の御便利を計り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

和洋高等御料理 遼東館 遼陽城内東街一八九號 電話 號

諸鐵工製作 鑛山船舶機械鐵工 輕便鐵道附屬鐵工 土木建築用鐵材料 其外鑄物諸般 營口ブツシ街定商會門東 川喜鐵工所

靴製造并に修理 右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也 營口元神廟街郵便局官舍向ひ 桑田靴店

奉天小南門ノ後
和洋諸雜貨 食料品卸小賣 中越洋行
各種賣藥卸小賣 中越大藥房
但シ賣藥部ハ隨時診察ニ應ズ 尚以後吉林長春ハルビン地方ヘ御越シノ方有之上ハ聊カ御示談申上度義有之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

料理店旅館擴張廣告

奉天小西關新街 御料理 本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）

小生方各位益々御清榮奉賀候陳者弊店儀嚮に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業以來大方紳士諸商諸彦の御引立を蒙り日に増し盛大を來たし從つて家屋手狹を感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來附斷衛に設けて以て專門の料理店となし日本式宴會（百人迄の設備有之候）並に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間倍舊一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白
追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は南方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標に御注目被成下度特に願上候

營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

陽城内西街 御料理 盛進館 雜貨 井川商會 店主 北ツネ

和洋 御旅館 御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街（電話十四番）
日清倶樂部 奉天城内大南門裡大街（電話十五番） 麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髮 裁縫 氷御小賣所

有 土木建築請負 煉瓦製造販賣 雜貨卸小賣 有馬組遼陽出張所 遼陽城内西街 主任 海南右門

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉
安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半 溫泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁 眺望絶佳今ヤ新綠滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ 効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂痲質斯、黴毒、癩病等ニ特効アリ

遼河々岸 牛荘ホテル
營口唯一西洋式のホテルにて宿泊料は極廉なり 酒部屋及玉臺理髮所の設備あり 食堂の外休憩所及應接室あり御會談に適せり 大集會御人數百名位の設備あり
アイスクリーム等の多少に拘らず御求めに應ず 高雅にして見はらし最良の景色に富めり 開業の披露として料理切手一千枚限り發賣す 第一等二圓第二等一圓五十錢第三等一圓

喜久洋行
啓者本行專售東洋各種木料板片社亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在青堆子自署棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙 中外紳商賜顧者請到本行面議是荷 開設永世街第二小鐵道市場路東 本行 主人 謹白（電話一五二）

上海 中井洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗烟草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

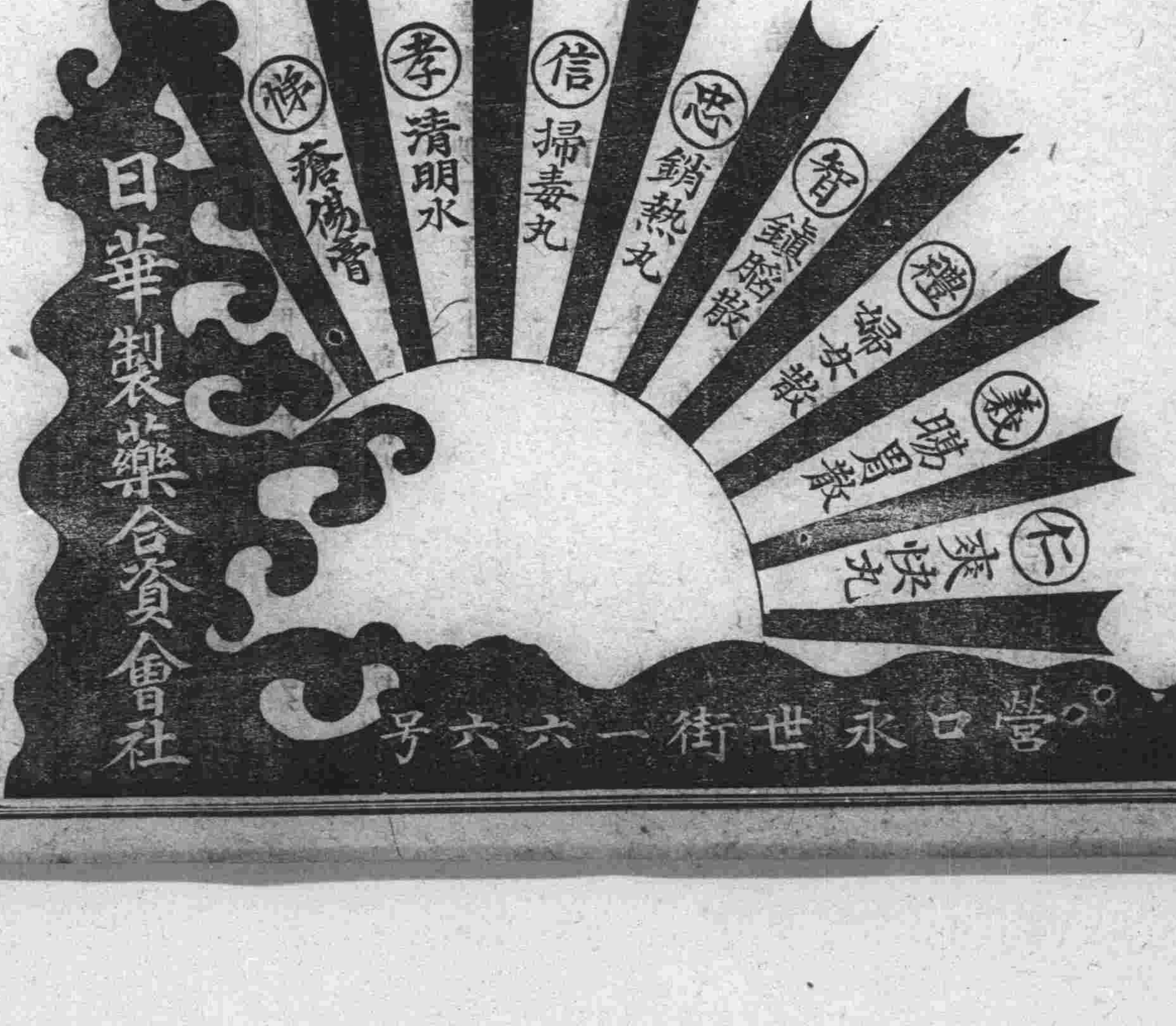
自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

齒科治療廣告
啓者本醫士現將已前治療室從新改築寬敞幽雅俾期與治患之人一般便利而且應症活治療妥善有齒牙之患者幸早惠臨試驗方知本醫士之言不謬也
齒科醫士 德平盛剛 遼陽西街六十九號

軍隊用雜貨 日用品雜貨 食料品種々 船來品類 其外新荷着船來品精々大勉强販賣 遼陽西門外筋 北原洋行

遼陽州官設醫院告條
凡請診治到院掛號須在上午自八點鐘起至十一點鐘止藥資例取醫銀隨意
右者愿屬免藥資者須在下午到院掛號自一點鐘起至三點鐘止
一特邀醫官於其家者另繳規費一元以上但在下午三點鐘以後
一欲求診斷證明諸單及處方箋另付規費
一每逢慶節及禮拜日一概休辦

救治萬病 濟生八方 神効無比



石材大販賣 石灰 英治洋行（營口街區）（電話三二）

登錄商標 キ 美術珍柄種々 新荷着候間陸續御來觀之程奉願候 永世街 木村呉服店 電話八十八番

飯塚工程局材料部 營口元神廟前（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘御用命に應じ候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

本紙代價 一枚 四錢 一ケ月前金 八十錢 半ケ年全 四圓八十錢 一ケ年全 九圓六十錢
本報價目 一張 四分 一月 八角 半年 四元八角 一年全 九元六角
告白 一行五号十九字
發